

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	各種お問い合わせ ☎ 0120-782-031 (通話料無料)
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413

当社ホームページのご案内

<https://www.niv.co.jp/>

日鍛バルブ 検索

当社ホームページをリニューアルいたしました。当社の企業情報をはじめ製品情報や、株主・投資家向けのIR情報など、様々な会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



トップページ



IRページ

日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

NITAN VALVE REPORT 第96期 上半期報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

INDEX

- 株主の皆様へ 01
- セグメントの概況 03
- 特集 05
- 連結財務情報 07
- 株式情報／会社情報 09
- 事業拠点 10

CHALLENGE・CREATION・SPEED

挑戦、創造、スピードをモットーに、
時代のニーズを先取りした
高品質な製品をご提供します。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。



株主の皆様におかれましては、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第96期上半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)が終了いたしましたので、ここに決算と主要項目につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **金原 利道**

決算ハイライト

売上高
21,974百万円
前年同期比 2,151百万円(10.9%)増

営業利益
1,546百万円
前年同期比 75百万円(4.7%)減

経常利益
1,616百万円
前年同期比 24百万円(1.6%)増

親会社株主に帰属する四半期純利益
498百万円
前年同期比 198百万円(28.4%)減

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当第2四半期の市況について

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、輸出・生産の持ち直しや企業収益・雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについても引き続き回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響などに留意する必要があります。全体としては緩やかに回復しています。

また、当社グループが関連する自動車業界は、国内市場は景気回復に伴う販売好調を背景に底堅く推移しました。海外市場は中国の需要拡大や北米・欧州の販売好調などを背景に概ね堅調な推移となりました。

当期の取り組みおよび業績について

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「持続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大、自動車用精密鍛造歯車の販売好調、バルブリフターの販売増加等により前年同期に比べ増収となりました。海外事業は、北米・台湾・インドネシアにおける受注減少等の影響はあったものの、中国・ベトナムにおける生産拡大や為替換算の円安効果等により海外事業全体としては前年同期に比べ増収となりました。この結果、売上高は、219億74百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

損益面につきましては、タイ・ベトナムにおけるコ

連結業績の見通し

当社グループがもっとも影響を受ける自動車業界、二輪車業界は人口減少と若年層の保有率低下により国内生産は減少傾向を見込んでおりますが、一部製品の受注増など増収を見込む中で生産体制拡大のための設備投資による償却費や人件費増により減益となる見通しです。海外においては、米国、中国、欧州等の経済に不確実性があるものの、自動車、二輪車生産は拡大傾向にあり、当社グループにおいては、中国、アセアンで受注増を見込むものの、米国での受注減の影響があり、減収、減益の見通しです。

■ 第96期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	期末配当予測
42,400百万円	2,850百万円	3,200百万円	1,350百万円	6円00銭

スト削減や為替換算の円安効果等の増益要因はあったものの、国内事業および中国におけるコスト増加、台湾・インドネシアにおける受注減少、PBW事業立ち上げコスト発生等の影響により、営業利益は、15億46百万円(前年同期比4.7%減)となりました。経常利益は、支払利息・為替差損の計上が前年同期に比べ少額であったことから増加し、16億16百万円(前年同期比1.6%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等の計上が前年同期に比べ多額であったことから減少し、4億98百万円(前年同期比28.4%減)となりました。

当期の連結業績見通しにつきましては、売上高は424億円(前年度比1.8%減)、経常利益は32億円(前年度比11.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は13億50百万円(前年度比4.5%減)を見込んでおります。

なお、上記業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の予測が含まれております。したがって、今後の事業運営、経済情勢など内外の状況の変化により実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

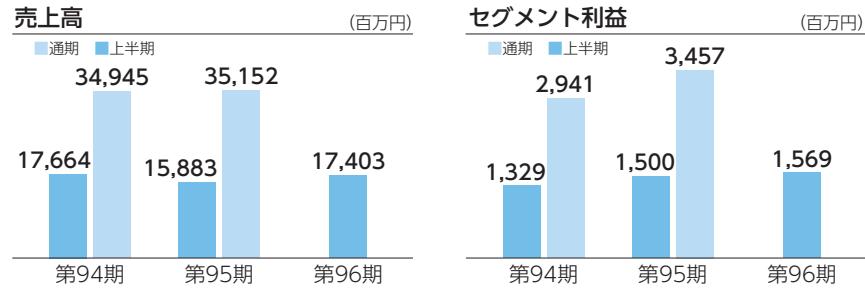
■ 事業別 (連結) 売上高・セグメント利益

小型エンジンバルブ事業

売上高構成比
76.9%

乗用車、二輪車、トラック、バス、汎用製品 (芝刈機、チェーンソー) 等のエンジンバルブ製造販売

- 国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大や新規量産の立ち上がり等により四輪車用および二輪車用エンジンバルブともに増加し増収
- 海外事業は、北米・台湾・インドネシアにおける受注減少等の影響はあったものの、中国・ベトナムにおける生産拡大や為替換算の円安効果等により増収
- 国内事業および中国におけるコスト増加等の減益要因はあったものの、タイ・ベトナムにおけるコスト削減等の効果や為替換算の影響等により増益

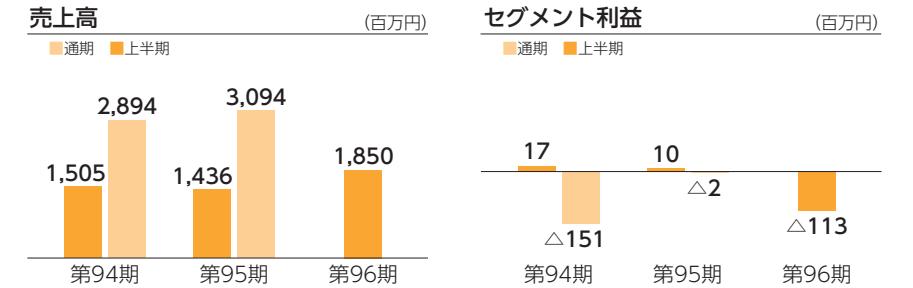


可変動弁・歯車・PBW事業

売上高構成比
8.2%

・乗用車、トラック、農業機械、建設機械、産業機械の精密鍛造歯車、オートマチックトランスミッション用部品製造販売
・乗用車の電磁式連続カム位相可変機構 (NT-VCP) 製造販売

- 可変動弁については、増収
- 精密鍛造歯車については、北米・中国向け自動車用製品の販売好調により増収
- PBWについては、本格的な量産を開始したことにより増収
- PBW事業立ち上げコスト発生等の影響により減益

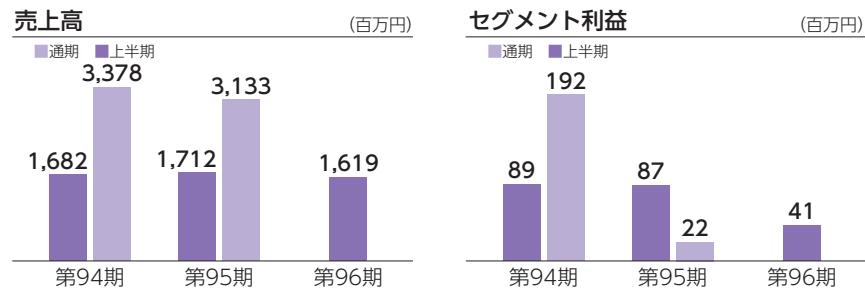


船用部品事業

売上高構成比
7.1%

・船舶用、汎用製品 (発電機等) のエンジンバルブ製造販売
・補機補給部品修理

- 需要低迷の影響により国内向け組付部品・補給部品の販売が低調となり減収
- 受注減少等の影響により減益

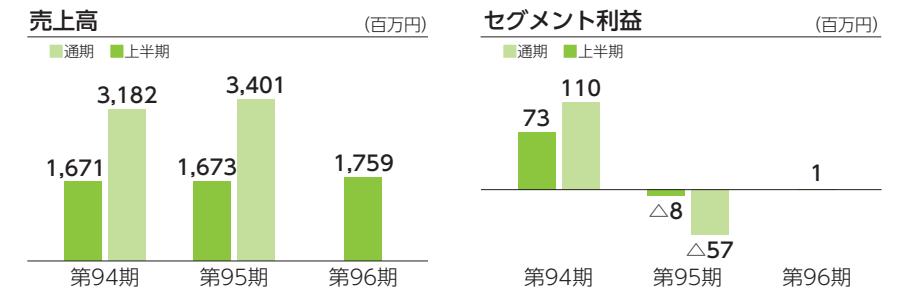


その他事業

売上高構成比
7.8%

・バルブリフター、ローラーロッカーアーム、工作機械製造販売等

- バルブリフターについては、国内向け製品の増加や中国向け製品の販売好調により増収
- 工作機械については、グループ内部での取引が減少し減収
- ロイヤルティについては、前年同期と同水準



(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

“国内・海外事業の収益力を強化し、持続的な企業価値の向上を目指す”

■ 2015-2019年度 グローバル中期経営方針

I. 基盤強化・・・ものづくり、業務改善

- ①ものづくり力を強化し、顧客の信頼を高める
- ②改善力を強化し、環境変化に強い体質に変革する
- ③適正な投資と資産管理により、財務基盤を強化する

II. 持続的発展・・・拡販、開発、品質

- ①徹底的な原価改善により、コスト競争力をつける
- ②開発力を強化し、新たな受注を獲得する
- ③品質力の向上により、ブランド力を高める

III. 企業風土改革・・・安全、環境、人材育成、コンプライアンス

- ①人材育成の仕組みを充実させ、グローバル人材を育成する
- ②コンプライアンス体制を整備し、リスクを未然に排除する
- ③安全意識を高め、快適な職場をつくる
- ④環境負荷を低減し、地域に貢献する

■ 中期経営計画と今後の展開

当社は、2019年度（第98期）を最終年度とする中期経営計画を策定しております（右図参照）。

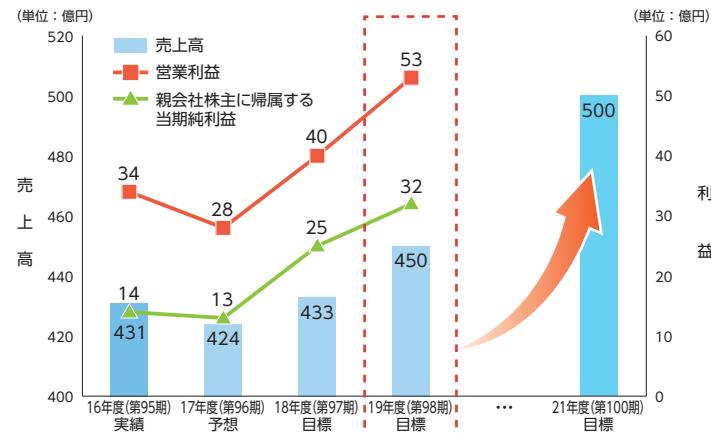
基本方針としては、国内および海外事業の収益力強化を掲げており、小型エンジンバルブ事業は、中空エンジンバルブ事業の着実な生産・供給体制の確立と既存製品の競争力強化を継続的に行ってまいります。船用部品事業は、補用部品への確実な対応、可変動弁・歯車・PBW事業は、PBW（オートマチックトランスミッション用部品）の増産対応を着実にやってまいります。

また、中期経営計画のさらに先を見据え、新製品開発やEV化への対応も進めており、将来的には連結売上高500億円も視野に入れております。

当社グループがもっとも影響を受ける自動車業界、二輪車業界につきましては、グローバルでの市場拡大が引き続き見込まれておりますが、内燃機関の効率化などに関連した先進環境製品へのニーズが先進国を中心に一層高まるとともに、新興国においては、市場の拡大による廉価製品へのニーズが高まっております。従来の日系サプライヤーとの競争に加え、製品のモジュール化を推進するメガサプライヤーとの次世代技術を巡る技術開発競争や、低価格部品を提供する新興国ローカルサプライヤーとの価格競争が一段と激化しております。

当社グループは、このような経営環境に対応し持続的な企業価値向上を目指すべく、2015年度から2019年度を期間とする新たなグローバル中期経営方針を策定し、諸施策を実施しております（左記参照）。

2019年度（第98期）目標指標

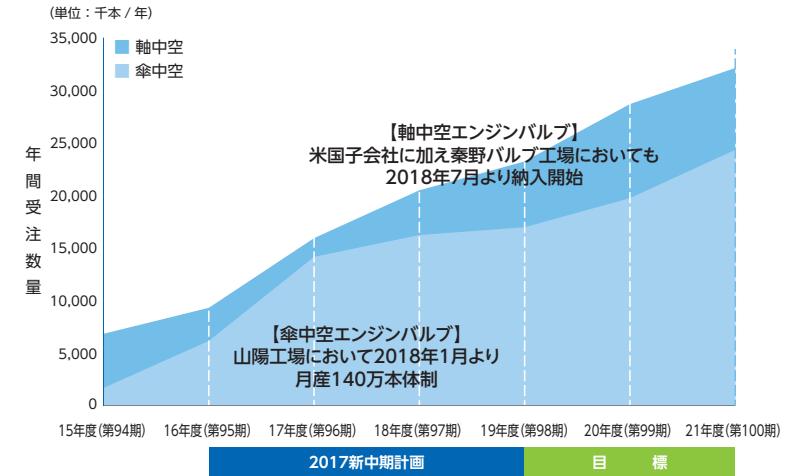


■ 中空エンジンバルブ戦略

中期経営計画を達成するためには、付加価値製品のひとつである中空エンジンバルブ事業がそのカギを握ります。近年、増加している過給ダウンサイジングエンジンは、燃焼室内部が高温になるため、冷却効果がある中空エンジンバルブが有用となります。また、中空エンジンバルブには、軸部のみを中空化した軸中空エンジンバルブと、軸部と傘部の両方を中空化した傘中空エンジンバルブがあり、当社は製品の高機能化や低価格化等顧客の多様なニーズに柔軟に対応することが可能です。

世界市場において、今後も中空エンジンバルブの需要が高水準で続くことが見込まれております（右図参照）。当社では、中空エンジンバルブ事業の拡大に向け、順次、国内外で生産体制を拡充し、顧客の負託に応えてまいります。

中空エンジンバルブ受注計画



■ 新戦略拠点の設立

当社は、新たなグローバル戦略拠点として、中国山東省に小型エンジンバルブの製造・販売を目的とする現地法人の設立を決定いたしました（右記参照）。

世界市場において、当社の戦略商品である傘中空エンジンバルブの需要は、前述の受注計画のとおり増加が見込まれております。世界最大の自動車市場・生産国である中国に新たな拠点を設立し、現在同製品の集中生産を行っている山陽工場（山口県山陽小野田市）を加えた万全の供給体制を構築いたします。なお、同社の操業は2019年の開始を予定しており、販売数量も着実に増加する計画となっております（右図参照）。

今回の新拠点設立により、顧客の需要増加に確実に対応し、小型エンジンバルブ事業の強化、さらにその先の企業価値向上につなげてまいります。

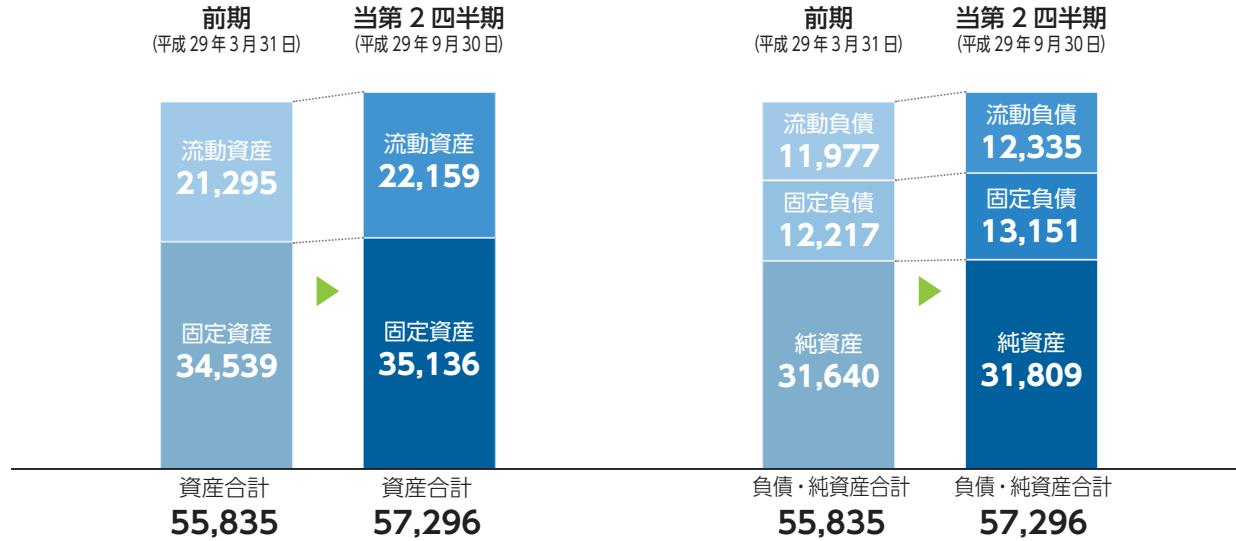
販売数量計画



会社名：Rizhao Nittan Valve Co., Ltd. (仮称)
 (日照日鍛汽門有限公司)
 所在地：中華人民共和国山東省日照市
 資本金：8億円相当額 (予定)
 出資率：日鍛バルブ株式会社 85%、イートンコーポレーション15% (予定)
 (なお、イートンコーポレーションは同社グループ子会社が出資予定)
 事業内容：小型エンジンバルブの製造・販売
 設立：2017年 (予定)
 生産開始：2019年 (予定)

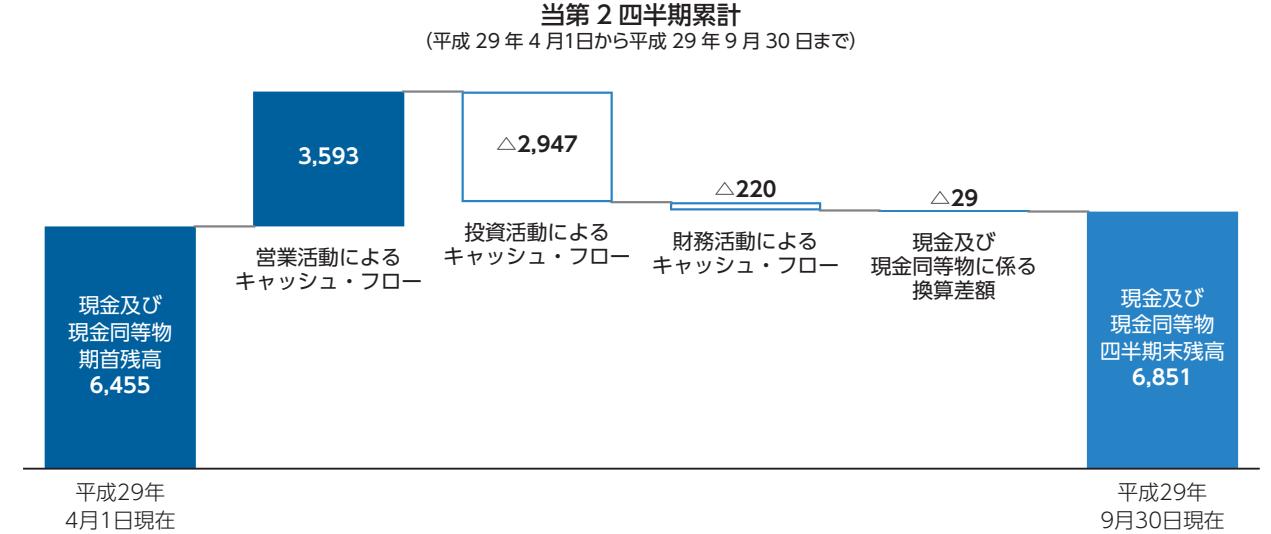
■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)



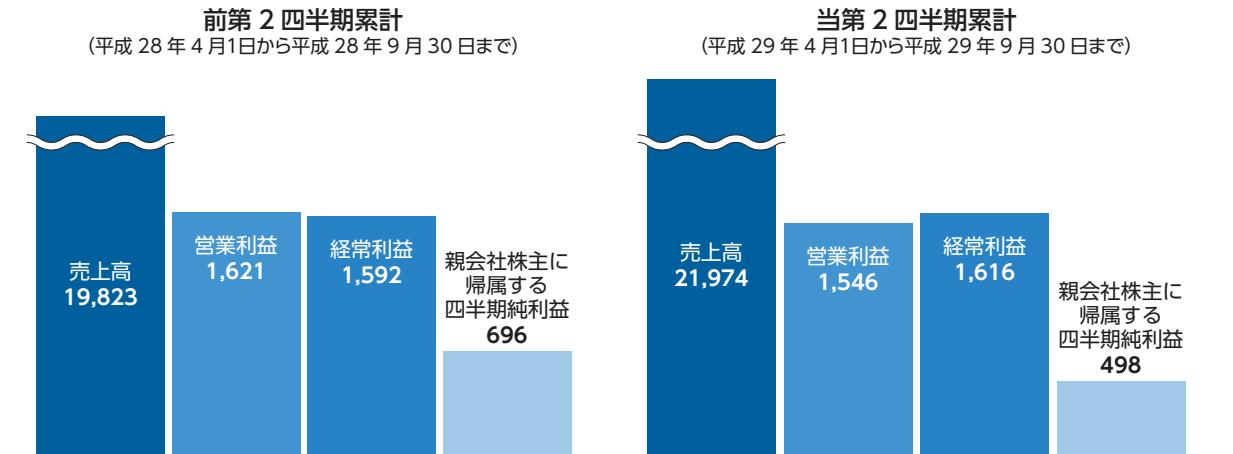
■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



■ 連結損益計算書

(単位:百万円)



財務のポイント

- 資産
流動資産は、主に現金預金、受取手形および売掛金の増加により863百万円増加し、22,159百万円となりました。固定資産は、主に機械装置および運搬具の増加により596百万円増加し、35,136百万円となりました。
- 負債
流動負債は、主に支払手形および買掛金の増加により358百万円増加し、12,335百万円となりました。固定負債は、主に長期借入金の増加により933百万円増加し、13,151百万円となりました。
- 純資産
純資産は、減少要因があったものの、主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加により169百万円増加し、31,809百万円となりました。
- 営業活動によるキャッシュ・フロー
減価償却費の増加や仕入債務の増減額の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ368百万円増加し、3,593百万円となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形および無形固定資産の取得による支出の増加等により、投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ支出が982百万円増加し、2,947百万円となりました。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入れによる収入の増加や長期借入金の返済による支出の増加等により、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ支出が1,470百万円減少し、220百万円となりました。

■ 株式の状況

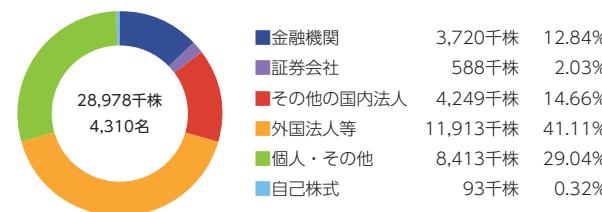
発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式の総数	28,978,860株
株主数	4,310名

■ 大株主 上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イトンコーポレーション	8,693	30.00
株式会社横浜銀行	1,302	4.49
本田技研工業株式会社	1,233	4.26
ピーエヌピーパブリセキリティーズサービスルクセン ブルグ/ジャスデック/エフアイエム/ルクセンブルグ ファンド/ユーシーアイティエスアセット	1,200	4.14
トヨタ自動車株式会社	1,057	3.65
株式会社シンニッタン	517	1.78
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) アカウントノントリティー	516	1.78
株式会社みずほ銀行	472	1.63
日本証券金融株式会社	466	1.61
明治安田生命保険相互会社	448	1.55

(注) イットンコーポレーションは所有する当社株式8,693,660株のうち799,800株を
ザバンクオブニューヨークメロン140042(常任代理人株式会社みずほ銀行決済管
業部)に信託しており、同社名義で株主名簿に記載されています。

■ 株式分布状況



■ 会社概要

会社名	日鍛バルブ株式会社
英文会社名	NITTAN VALVE CO., LTD.
本社所在地	神奈川県秦野市曾屋518番地
設立年月日	昭和23年11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	676名

主要な事業内容 下記製品の製造及び販売
 ・小型エンジンバルブ(乗用車・二輪車・トラ
 ック・バス・汎用製品等のエンジンバルブ)
 ・船用部品(船舶用エンジンバルブ、汎用製品
 のエンジンバルブ)
 ・可変動弁・歯車・PBW(自動車用電磁式連続
 カム位相可変機構、自動車・トラック・農業機
 械・建設機械・産業機械等の精密鍛造歯車、
 オートマチックトランスミッション用部品)
 ・その他(バルブリフター、ローラーロッカー
 アーム、工作機械製造販売ほか)

■ 役員一覧

代表取締役社長	金原利道
常務取締役執行役員	李太煥
取締役執行役員	中元一雄
取締役執行役員	井上文雄
取締役執行役員	六浦満夫
取締役執行役員	桧村雅人
取締役執行役員	大野浩
取締役執行役員	安藤輝明
取締役(社外)	鈴木隆司
取締役(社外)	木全紀之
取締役(社外)	金岩
監査役(常勤)	菊地浩二
監査役	渡辺博昭
監査役(社外)	村田浩
監査役(社外)	下山秀弥

■ 国内の主要な事業拠点

本社工場	〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋518番地 TEL.0463-82-1311 FAX.0463-82-7413
堀山工場	〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下183番3号 TEL.0463-89-1177 FAX.0463-89-1178
山陽工場	〒757-0003 山口県山陽小野田市大字山野井 字国木1173番20号 TEL.0836-73-1611 FAX.0836-73-1616
東京事務所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2階 TEL.03-5337-3211 FAX.03-5337-3210
中部営業所	〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅2丁目34番20号 CK23名駅前ビル5階 TEL.052-485-6121 FAX.052-562-0500
広島営業所	〒732-0053 広島県広島市東区若草町12番1号 アクティブインターシティ広島11階 TEL.082-258-3125 FAX.082-258-3144

■ グローバル生産拠点

